だいちのめ



まちをあるく

地域をふかぼりフィールドワーク 「どんぐりを探そう!」

あま

るち



田舎には、都会に比べておもしろいものがない、魅力がない、と言われることがありますが、本当にないのでしょうか?いや、きっとそんなことはない!と私たちは考えています。100歩譲って、もし本当にないものがあるとしたら、それは「視点」じゃないか、そんな仮説をもって取り組んだのが、今回の特集です。私たちは同じ場所にいても、興味関心や専門性によって、違うものを見ていたり、体験する内容が違っていたりします。今回は、文化財や地形の専門家と一緒に、明浜町高山地区と野村町惣川地区を歩きながら、それぞれの視点でまちを見て楽しむコツみたいなものを教えてもらいます。

さあ、出かけましょう!



岡崎直司さん

西予市文化財保護審議会委員長。 宇和町山田地区在住。愛媛県内の近 代化遺産を中心に、文化遺産の保存に 関わる中で"見視観看"の地域ウォッチン グを提唱している。

写真•文:加藤雄也、加藤千晴

※誌面に掲載した方々の所属や肩書は、令和4年9月時点のものです。



川澄隆明さん

四国西予ジオパーク専門員。専門は地形学(博士)で、学生時代からハンマーを片手に世界を渡り歩く。東京で地学教員として働いた後、西予へ。田之筋の大判山麓にあると言われている、氷室の解明にも取り組んでいる。

晩ごはんの献立や明日がメ切の仕事、地域行事の準備、子育てや介護…。 私たちは日々、いろんなことを抱えて暮らしています。

そうした目の前のことに向き合いながらも、ふっと視点をずらしてみたり、時間のものさしをいつもより長く伸ばしたりして、日常を振り返ってみるきっかけをつくりたい。 そんな想いから、『だいちのめ』を創刊しました。

なにか一つでも、ふだんの暮らしを考える問いが生まれますように。

『だいちのめ』編集部

<特集>

を

02 まちをあるく



- 08 ちょっと一息、編集部コラム。
- 09 山の上の集落をあるく。(野村町・惣川)
- 14 まちあるきを終えて

<連載>

- 15 地域をふかぼりフィールドワーク どんぐりを探そう!
- 17知の地層民俗学のまなざし
- 18 こどもジオ相談室 西予がジオパークに認定されたわけは?
- 19 つなぐ人のことば 暮らしの場として、町並みを伝えていく







『だいちのめ』は、私たちの暮らしと大地との関わりを研究し、ジオパークについての理解を深めることを目的に作られたフリーマガジンです。ジオパークは持続可能な社会の実現を目指すプログラムであり、国連が定めたSDGs (持続可能な開発目標)とも深く関わっています。

ちこちに石灰岩が

ると、あちこちで石灰岩にまつわる こうした歴史を知ってから町へ出

当時の様子を知ることができる資 煙を上げながら消石灰になるんで 石灰岩を高温で焼くと生石灰がで 高山には石灰岩を採掘し、 2階にかざってある絵画だそう。 生産で栄えた歴史があります。 消石灰は、畑の土壌改良など それに水を加えると、白い もっと多くの人の目にふ この絵は、

> 石に 目を光らせる 川澄さん

の高山の様子を描いた作品です。 「これは、石灰業が盛んだったころ 岡崎さんのもう|つのお目当ては、 館内に入ってまず目についたのは 大崎鼻の灯台、野福峠を思わ 明浜の要素が素朴 、消石灰



地区では砂岩 (宇和島石) や石灰岩 混ぜてモルタルにして作ったもので 「家の基礎に使われている石 かわりに商品にならない石灰を

公民館に名画あ

最初に訪れたのは高山公民館



公民館 2 階に飾られていた絵画:昭和 26 年の高山の風景 是澤八郎 画

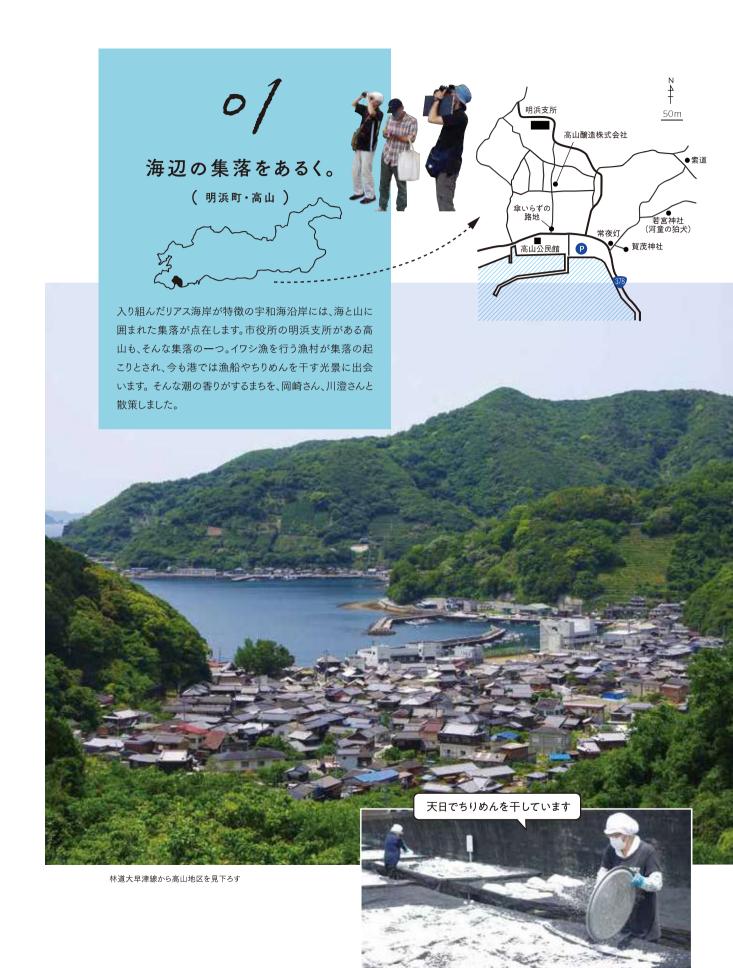




石灰岩の基礎石とすきまを埋める石灰モルタル

(左) 高山地区には石灰岩を焼いていた石灰窯が十数基 残っている。これだけの遺構がまとまって残っているのは全 国的に珍しく、産業遺産としての価値がある。

(右)賀茂神社の常夜灯も石灰岩製。航海安全の灯台が わりでもあり、毎日火が灯された。石灰岩をすみかにする ウド貝 (イシマテ貝) が付着しており、海からとってきたもの だとわかる。



岡崎's EYE 「まちの装飾あれこれ」



的な門柱。こういう のも味があっていい じゃないですか。

こういう鉄扉は、地元 の小さな鉄工所で注文 してつくられてきたもの。 今はほとんど見なくなっ てしまったね。







賀茂神社は、種々の飾り瓦や京 都の宮大工が彫ったとされる彫 刻を備える豪華なつくり。当時、 石灰産業で地域が経済的に 潤った様子がうかがえます。参道

の宇和島石も必見。



高山醸造株式会社として現存する建物

伝わる歴史 上塗りされないことで

達があって黒く塗られたものです。 を目立たなくするように、という通 呼ばれるものです。 るでしょう。これは、戦時迷彩、と 「漆喰部分が黒く塗られた跡があ その壁面に注目した岡崎さん。 造会社だった建物を見つけました。 さらに路地を歩いていると昔、 戦時中、建物 酒

話で聞くよりも、こういったもの

ど、上塗りされないことで歴史が い、というものでもないと思うんで 伝わる。なんでも新しくすればよ きれいに塗りなおされていた

遺産としての価値が出てきたそう。 がる"索道』も岡崎さんからする 集落のはずれにあった、山につな

戦後、 のを実感できると思うんですよね。 らこうしたことはわからないのだけ を生で見て学ぶ方が戦争というも

傘いらずの路地の入り口部分。洗い出し の外壁(左)と、ベンガラ塗り(右)の建物。



で、雨が降っても傘をささなくても 建物が密集している景観が特徴的 「高山は屋根どうしがひっつくほど どうしの距離がすごく近いこと。 す。路地に入ると気付くのは、建物

技術です。石の種類によって、色を

ぜたモルタルの表面を水で洗って、

変えることができて、このクリ

トの粒を多く使っ

と呼ばれています。平地が少ない| いいくらいだから『傘いらずの路地』 な?と思うようなところもありま

に流行した、洗い出し、の外壁。 「左側は、擬洋風建築で、昭和初期

と、ここの路地は入っていいのか

何本か走っていて、よそ者からする

高山地区は、南北に細い路地が

た建物は左右でずいぶんと雰囲気

とに気づきます。

路地の入口にあっ

路地をあるく

「高山の岩石解説」 川澄's EYE

近するので、それぞれ特徴があるこ

狭い路地では、自ず

と建物に接

ので、

木部の保護になります」

落の高密化が進んだんでしょう」と 口を収容するために、これだけ集 方で、石灰業の好況で増加した人

はよく使われている塗料です。この ラも、高山に限りませんが古い家で 右側はベンガラ塗りが特徴。ベンガ

ているみたいですね。 のところはチャ

赤味は酸化鉄の色。変性しにくい

石灰岩: サンゴや貝などの生物の殻が、海中で堆 積してできます。白~灰色をしています。

砂岩:砂粒が堆積してできる岩石。石材としては、 加工がしやすく表面がなめらかな仕上がりです。

チャート:放散虫という海中プランクトンの殻が深 海で堆積してできる岩石。とても固い特徴があります。



路地沿いにある若宮神社の河童の狛犬。 全国的にもめずらしく、高山地区のシンボル。 材質は砂岩(宇和島石)。

6

EDITOR'S NOTE

ちょっと一息、編集部コラム。



私は生きもの観察が好きで、まち歩きをしていてもつい つい植物などに目がいきます。たとえば高山地区を歩 いていて目についたのは、"ツメレンゲ"という多肉植物。 もともとは海岸の岩場などに自生する野草ですが、海岸 沿いの集落では、古い民家の屋根などでも目にします。 また、石垣の隙間に生える"ヒメウラジロ"という少し珍 しいシダも見つけました。人の暮らしのすぐそばでたく ましく生きる野草に出会うと、なんだかうれしくなります。





ツメレンゲ

ヒメウラジロ





子どもとお散歩に行くときは、ビニール袋や海苔 の空き容器を持ち歩くことが多いです。虫やまま ごとに使えそうな草花を採集したり、道端のゴミを 拾ったりといろいろな用途で使えます。

今回の取材にご協力いただいた岡崎さん、川澄 さんにも、「まち歩きや野外調査に出かけるときに、 必ず持っていくもの」を尋ねてみました。みなさん が出かける際の参考にしてみてください。



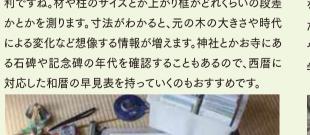
8

岡崎さんの、まち歩きの相棒。

川澄さんの、まち歩きの相棒



住宅地図や1/25,000~20万分の1の地図を目的に応じて 持っていきます。また、建物を見る時に、スケールがあると便 利ですね。材や柱のサイズとか上がり框がどれくらいの段差



ハンマーとルーペを必ず持ち歩きます。ハンマー で割った新鮮な断面をルーペで見て、石の種類 を識別するんです。これは輸入品で、まだ学生 だった頃、一万円弱で購入しました。海外遠征 や山登りの時でも必ず持ち歩きます。万国地質 学会議の紋章はハンマーと虫眼鏡なんですよ。







目の にあ 生活の知恵を見つけて だと実感で 史を語る ようにも思います。 前 る物語を想像 を支える産業の移り まちの の景色の解像度が 立派な産業遺産です きるまち歩きでした。 少しだけ気付ける 職人仕事 今まで通り過ぎ は ほ 変わり んの少し その背景 が 人々の

郷土研究を通じて、地域を元気に!~地域づくり組織の取り組み~

令和 2~3 年度、高山地区では専門家を招 いて地域の成り立ちや地域資源を調べる調 査を行いました。事務局員の宇都宮さんにそ の取り組みについて伺いました。

今回の調査では、地域の生業の変化がどう 集落の構造を変えてきたのか、といったつな がりがわかりました。また、明浜の六浦の個 性を生かした地域づくりというキーワードが 浮 かび上がってきました。明浜は、柑橘の生産 とか漁業とか宇和海沿岸で共通する暮らしが ある一方で、浦(入り江ごとに発達したそれぞ れの集落)で個別の文化もあります。それを活 かして連携していくことの大切さを学びました。 高山独自のものとしてはやっぱり石灰の生産 が盛んだったこと。江戸の終わりから 100 年 ぐらい産業として栄え、地域の暮らしを支えた 物語があります。そうした歴史の中で集落が 息づいておるんです。

そういう歴史を伝えるもの、貴重なものは、で きるだけ残していきたいと思っています。今回 の調査でも、地域の先輩方がまとめた郷土資





この索道を使って段々畑からみかん

料を参考にさせてもらっています。そうやって 先人から受け継いで今がある。今後、次の 世代に何を伝えていくのか、そのために自分 たちはどういう役割を果たすのか、ということ もだいぶ整理されたと思います。今回の調査 結果を活かして、観光・交流事業や学びの 場での活用への展開などもできたらと思って います。



高山景観調査委員会事務局 事務局員 宇都宮松夫さん

※調査結果についての問い合わせは 高山公民館(0894-64-1292)まで。



漂うレトロな雰囲気

「あぁ、この建具だ」

惣川天神地区の土居家

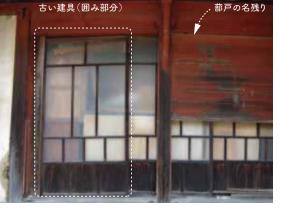
だけど、日本瓦のかわりに、昭和三 セメント瓦。「今は生産されてないん 替えされないと傷んでいく」 な色のペンキを塗るんやけど、塗り 最初はオレンジとか緑とか、いろん して傷むんよ。それを防ぐために 瓦の方が強い。 もたないかっていう感じで、普通の をするんやけど、むしろ百年もつか 惣川ではよく見るね。コンクリ 四十年代に流行ったもの。 って永久構造物的な登場の仕方 まず岡崎さんが注目したのは、 水がセメントに浸透 けっこう







やったんですよ。今は下の県道沿い ねぇ」「これも懐かしい郵便ポスト。 ないねぇ。塩は生活必需品だから 「今はこういうほうろうの看板は見 ろい看板を見つけました。 に移ってるけど」 もとはここが郵便局 (大正6年築) 続いて、曲がり角の商店でおもし



らいに流行ったようです。 のでどうやら大正から昭和初期く と変えるデザイン。あちこちで見る 窓ガラスの割付を、二枚三枚四枚 前はこの建具が入ってたんですよ。 「さっきの郵便局だった建物も、 とまた何かを見つけた岡崎さん。 右側上部の板は、蔀(しとみ)戸

が聞こえてきました。 すか?」と元気なおばあちゃんの声 そこへ「どちらから見えられたんで 物との出会いに、盛り上がる一行。 塗ってあって、全てが整っているね」 くりに桟(さん・建具の枠)も黒く だけじゃなくて、持ち送りに出桁づ 戸みたいなものです。 の名残やね。はね上げ式の簡易雨 昔の建築様式がそのまま残る建 ここは、蔀戸

10

ここは村の中心だった

子をうかがいました。 うです。石井さんに集落の昔の様 あったお店は石井さんのお店だそ して使っている、石井恵美子さんで 声の主は見ていた建物を物置と 塩小売所のほうろう看板が

した。





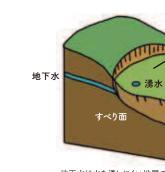
亀裂が見られたトンネル

「実は、このあたりがなだらかな地

水は地下水が地表に出てきたもの るのだと考えられます」 るので、このように亀裂が入ってい 後も土地がゆっくりと動き続けてい ています。このトンネルが作られた 形なのは、過去に大規模な地すべり れます」と川澄さん。 が多く入っており、湧水がよく見ら きれいな水が湧き出ていました。「湧 が起こったからということがわかっ トンネルを抜けると、道の下から 地すべり地帯は岩盤に亀裂



県の地すべり防止区域に指定されていることを示す標柱も。



この土地で工事をする場合は、県知事の許可が必要になる。

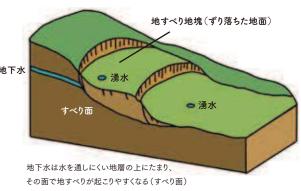


山の中の水利施設からは多量の水が流れ出ていた

ありました。 歩くと道路の下を通るトンネルが ここで川澄さんの解説 トンネルの壁に亀裂がありました。 い気温だったものの、トンネルの中 そのまま進んでいくと、 取材当日は30℃近

おばあちゃんと別れて、南の方へ

地元で盆川と呼ばれる湧水



ク擁壁にあるこの亀裂を確認した そうです。 見をしているときに偶然、ブロッ 川澄さんは、ジオパークの授業の

面が動いて崩れている箇所がないか 「この亀裂を見つけた時、さらに地

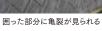
と、地形図に沿って斜面を登って行

Ŕ

地域の水利施設があった

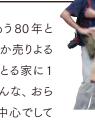
 λ

行ってみましょう」



が動いている様子を確認できる別 の場所へ移動しました。 お昼ご飯をはさんで、 今も土地

あの看板はおばあさんの時代からじゃけん、もう80年と いわんくらい店しよるんよ。今も塩とかたばことか売りよる んですよ。もう私とこもこれ、180年くらい建っとる家に1 人で住んでるんですよ。もういけませない、みんな、おら んようになってしもうて。ひと昔前はここが村の中心でして





な、賑やかやったんですよ~。いろんなお店もあって。私もここ出身じゃないんですよ、長浜出身な んですよ。開閉橋があるでしょ、あれの1つ手前のとこから、四男さんのところに嫁いで。夫は校長 までして、玉春日は教え子ですらい。なかなかですのよ。山の中で生活せんといけんもんは。子ど もらのところに行ったらいいんですけど、やっぱり1人でここで呑気におる方がいいです。



問いに、岡崎さん、川澄さんがそれ 録があります。 ぞれの視点で答えてくれました。 わう村があったのでしょうか。この なぜこんな山深いところに、にぎ

期まで様々なお店が並んでいた記 いた通り、このあたりには昭和の初 文献にあたると、石井さんに聞



大正末期~昭和初期の土居家周辺 の略図 ※『雲湧く村一惣川・土居家』(アトラス出版)より引用した図に 一部追記して掲載(原図は隈田勝巳氏作成)

11



藩政時代は、徒歩が主な移動手段で、峠道 がすごく発達していました。ここは伊予と土佐 を結ぶ往還(街道)で、物資の集散地として栄 えたんでしょう。大きな茅葺屋根の土居家は 惣川の庄屋宅で、行政の拠点だったんですよ。



12

EDITOR'S NOTE

まちあるきを終えて

今回の特集で、海と山、2か所の集落を訪ねてみた感想 を、川澄さん、岡崎さんに尋ねてみました。

(川澄さん)それぞれの集落でおもしろいものはある!と 思いました。高山地区では家の土台が印象に残りました。 砂岩、石灰岩、チャートと使われている石の種類もいろ いろあり、積み方も隙間がないものからいっぱい空いてい るものまで様々。ラフなこともOKとする文化、僕は好きで す。そういう土台にも着目して散策するというおもしろさを 岡崎さんに教えてもらいました。

(岡崎さん)まちあるきを楽しむときに建築の専門家かど うか、ということは関係ないんです。それより人はそれぞれ 生きてきた人生が別だから、考え方も興味が向く方向も 違って、それはその人の個性なんです。**その十人十色の** まなざしを掛け合わせて情報交換したときに、地域の立 体像が浮かび上がるわけ。個人的なまなざしの照射をい ろいろな方向から当てれば当てるほど、気づくものがある からね。また、同じ人でも、行きと帰りで気づくものは違う し、一度行ったからといって、全てを見渡せるわけではな い。季節とか日当たりとか、状況が変わると同じところに 行っても見つけられるものは違うんです。だから、まち歩き はおもしろい。

川澄さんのような別の専門性を持った方のエッセンスを注 入してもらいながら歩くと、またおもしろい世界が浮かびあ がるわけですよ。私も刺激になるし、楽しいですよね。

(川澄さん)いや~、外に出るだけで勉強になるって楽し くてたまらないじゃないですか!これからも、どのまちにも おもしろいところがあるよ、ということを伝えていきたいで すね。

14









山の上にある天神水利組合の施設ができたん は、60年くらい前、自分が小学生ぐらいの時 やったかなあ。あれは飲料用で、離れたところ から引っ張ってきてあそこで貯めて流しよるんで す。水も限りがあるんで、メーター見て使用量が 変に多いところとかはどっか管が傷んでないかと か見たりしよります。ここの畑の水は、5km くら い先の別のところから引っ張ってきとるんよ。



石山妙子さん

は、風化すると非常にもろくなり う岩石が分布しています。 地すべりを招く |さん。「このあたりは蛇紋岩とい 畑のそばの岩石に目を付けた川 す ・地質が

蛇紋岩

因になります」

す。それも地すべりが起きる要

を追記して掲載)





つきました 暮らしに、

13

の特徴をよく捉えて営まれてきた 場所に配置されていました。

驚きを感じながら帰路に

蛇紋岩の断面

畑のまわりに積み上げられた石も蛇紋岩



地すべり地塊から外れていることに 地すべりの形跡を地図に落としてみ ると(左の図)、 うか?川澄さんに聞いてみました。 りに見舞われたりしなかったのでしょ ずっと不思議だったんです。 こういう場所に庄屋を作っても なんで地すべり地帯にあ 土居家みたいな大きな建物 今も土地が動き続けてい 土居家は不安定な るの

点は、

地すべりの影響をうけにく

土地

用されています。

その一方、

村の

拠 利

多いことから、田んぼとしてよく

なだらかな斜面になり、

、湧水も

リの収穫をしている人影が見えまし ら山から下りてくると、畑でキュウ いんだなぁということを実感しなが

地すべり地帯は本当に湧水が多

た。惣川の水事情について聞いて

と納得しま した」

地すべりが繰り返し起こった場所 5 n た

な大きなも の を建て



【参考文献】『樹に咲く花 ①離弁花』(山と渓谷社)、『どんぐりハンドブック』(文一総合出版)、『ひろってうれしい 知ってたのしい どんぐりノート』(文化出版局)

16

②宝泉坊オオカシ群(城川町高野子)

西予でみられる主などんぐり

葉先の方で 帽が広くなる

コナラ

クヌギ

○平地で普通に見られる。

には殻斗(かくと)と言い、

その模様や形が れるものは

正確

「どんぐりの帽子」と呼ば

の見分け方

殼斗が特徴。

ります。また、どんぐりだけでなく葉っぱ どんぐりの種類を見分ける手がかりにな

もあわせて観察すると良いでしょう。

○長さ2~3cmの丸い形にモジャモジャの

○よく似たアベマキは、葉の裏に毛が密に生

えていて、白っぽく見えることで区別できる。

落葉樹

○長さ1.5~2cmで細長い。殻斗はうろこ状。 ○日当たりのよい野山に普通に生える。雑 木林を代表する樹木。

ミズナラ

落葉樹

Sousakutai

に出かけてみてください 友達といろいろなどんぐ ろいものです。

ぜひ、

ご家族や

あり、比べてみるとなかなかおも

Donguri

○長さ2~3cmくらいの長楕円形。 殼斗はうろこ状で深みがある。

○ブナが生えているような標高の高いとこ ろ(大野ヶ原など)で見られる。



実はどんぐりにもいろいろな種類が のではないでしょうか ポケッ

地域をふかぼり

フィールドワーク

ほど集めてしまうお子さんも多い 公園や森で目にす

どんぐりはほぼ実物大です 葉っぱは1/2のサイズです

(ブナ科の中でも「コナラ属」というグル ヌブナを除いた木の実のことを指 落葉樹のどんぐ と呼ぶ、 常緑樹のど りは、 しま Ť,

んぐり

-とは?

的にはブナ科の樹木のうち、 の定義には色々

があります。 どんぐりがなる木には の木の実だけをどんぐり 考え方もあります。) 木々が紅葉する雑木林で、 Ŕ ぐりの探し方 神社などで見られ

る照葉樹林

で探

15



落葉樹



西予市のどんなところが良くて、 ジオパークになったのですか? またジオパークはなぜ生まれたのですか?

歴史を教えてください。

ひよし ゆうた くんからの質問

西予がジオパークに認定されたわけ

にほん もっと ふる しゅるい 西予には、日本で最も古い種類のサンゴ化石や、 おくねんいじょうまえ ちそう がんせき み ばしょ 4億年以上前の地層・岩石が見つかる場所があり いま ねん まえ ふる だいち ます。今から70年ほど前に、こうした古い大地の けんきゅう にほん さいしょ おこな ちいき くろせがわむら げん 研究が日本で最初に行われた地域が黒瀬川村(現 ざい せいよししろかわちょう 在の西予市城川町)でした。

4億	2億5,000万	6,60	6,600万年前	
古生代		中生代	新生代	
陸上植物の出現		恐竜の繁栄	ほ乳類の時代	
4444				
70		9	PIN I	
/[_ こんな時代の地	1届がある1	1	· * *	
こんな時代の地	3層かのも!	1111	~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~	

また、入り組んだリアス海岸や、山に囲まれた盆地、 川のはたらきでできた河成段丘、大野ヶ原付近で 見られるカルスト地形など、いろいろと特徴的な地 形があり、それらと私たちの暮らしが深く結びついて いる様子が見られます。

こうしたことに加えて、西予市の人たちが、地元の自 然やそれらと深くつながっている暮らしを見つめな かつどう ねっしん おこな おす「ジオパーク活動」を熱心に行っていることを、 いいんかい 日本ジオパーク委員会から認めてもらったため、 ねん にほん 2013年に日本ジオパークに認定されたんです。

※ジオパークは、ユネスコが認定するユネスコ世界ジオ パークと、各国の国内委員会が認定する国内版ジオパーク があります。四国西予ジオパークは、国内版のジオパーク (日本ジオパーク)です。

こどもジオ

西予市の子どもたちから寄せられた ジオにまつわるギモンにお答えします

四国西予ジオミュージアム館長 高橋 司 さん

ジオパークの歴史

がんせき おおむかし お 地層や岩石は大昔に起 こった地球のできごとを 記録しています。例えば、 にんげん きろく のこ 人間の記録には残ってい ////////

ないような大きな地震や つなみ かざん ふんか 津波、火山の噴火なども、

大地を調べることでわかります。

ちきゅう れきし よ と がんせき ちそう こういった地球の歴史が読み解ける岩石や地層は、 にんげん よそう 未来に起こることを人間が予想する手がかりとなりま たいせつ のこ

す。これらを大切に残そうとしたのがジオパークの ねん はじまりで、まだ20年くらいの歴史しかありません。

かんきょう か 私たちのまわりの環境も変わってきています。石油 しげん かぎ ちきゅう をはじめ、地球にある資源にも限りがあり、自然災

がい いのち まも たいせつ ちきゅう ひと 害から命を守ることも大切です。「地球と人」とのか みらい ひと こま しゃかいはってん かわりを知って、未来の人たちが困らない社会発展

を目指そうということで、ジオパークは7年前(2015

年) にユネスコ(国際連合教育科学文化機関)の

46か国177のユネスコ世界ジオパークが認定され

こくさいれんごうきょういくかがくぶんかきかん ねん がつげんざい 正式な取り組みになりました。(2022年4月現在で、 Q. ご専門の民俗学について教えてください。

新型コロナウイルスや人口減少…。私たちの暮らしの中で、祭りや地域の行事を今ま

で通り続けていくことが難しくなっています。郷土の民俗(≒暮らしの有様)について

研究している大本さんは今、何を考えているのか、お話をうかがってきました。

民俗って一言でいえば、"世代を超えて今に伝 **えられた文化"**なんですよ。いわゆる"伝承 性"みたいなものを重視するんですよね。歴史 の中で、政治体制とか経済情勢とか、時代と ともにいろんな物事が変わっていく一方で、次 の世代が必要とする技術や知識、知恵は生き ていくために受け継ぐわけですね。じゃあなん で、連綿と受け継がれているものがあるのか、 ということを研究するのが民俗学なんです。

O. 今はお祭りとかも、後継者不足や価値観の 変化などによって継承が難しくなっていますね。

博物館の学芸員や文化財保護の委員という 立場からすると、「これは文化財だから大事な んで守りましょうしって、言わなきゃいけないん だけど、文化財だから守るっていうのもちょっ と違うなと。文化財になったのはなんでなの かっていう価値をわかってもらって、その価値 を理解したうえで、これはやっぱり大事やけん 受け継ごうと思うか、今の時代にはそぐわない からやめようと思うか、そこの判断がとても大 事で。それぞれの世代が、地域で昔から受け 継がれたものの価値を理解したうえで、受け 継ぐっていうような主体的選択をすることがほ んとの継承なんですよ。ジオパークだって一緒 ですよね。ジオパークに認定されたから続け なきゃいけないわけではなくて、なぜ認定され たのか、どういう価値があるのかを知って続け るかどうかを考えるものだと思います。

文化財って、昔からあるものをそのままの形で 受け継ぐものとして捉えられがちなんですけど、

祭りとかの無形民俗文化財に関しては、時代 に応じたやり方に変えながら受け継いでいっ てOKなんですよ。そして、変えていいところと 変えちゃいけないところを判断するのは地元な んです。僕のところに、「祭りをやめたいんやけ ど | って電話がかかってきた時は、継承や休止

なという気持ちで、『だいちのめ』もつくっている んですけど…。

郷土研究って本当に郷土の中だけで完結する ことって、結構危険というか視野が狭くなりま すよね。歴史は縄文時代から現代まであって、 地理的な空間でも東西がある。そういう縦軸 横軸をもって、自分たちが今どこにいるのかっ て相対的に表したり、理解したりするのが大事 です。これは民俗学に限らず、人間も、特に 中高大なんかで自分で座標軸を作って、自分 はここっていう立ち位置を知るのって結構大事 かなと。学校で歴史とか地理とかを学ぶ意 味ってそういうことかなと思うんです。



おおもと・たかひさ>八幡浜市の酒店に生まれる。小3の頃 から地域の伝説などを日記に書き、中高の愛読書は父から もらった『愛媛県百科大辞典』(上下巻で4万円)。高1の GWに一人で須崎海岸に降り立つとき、バスの運転手によ からぬことを考えているのではと心配された思い出も。

に向けて一緒に考えることもありますが。 Q. 郷土研究がもっと身近なものになるといい

18

ています。)

四国西予ジオパークのミッション ver.2021.09

Mission of Shikoku Seiyo Geopark.

ジオパークの根っこにあるのは、「大地へのリスペクト(感謝と畏れの気持ち)を持って生きよう| という価値観です。自分たちの足元をしっかりと見つめ、社会が抱える重大な課題と向き合い、 新しいライフスタイルや社会の実現にチャレンジしていく一それがジオパークの活動です。 四国西予ジオパークでは、以下のことを大切にしながら活動に取り組んでいます。

大地を見る目を養う。

日本は4枚のプレートの境界に位置し、地球上で特に大地の活動が活発な場所の1つです。 地震、火山の噴火、土砂崩れといった大地の活動は、人間が暮らす土地を形づくる一方で、 時には想像を超える災害をもたらします。平成30年7月豪雨での大きな被害は、「この土地 でどう暮らしていくのか | を私たちがあらためて考える機会になりました。私たちは、大地の特 性を見抜ける目を養い、大地への感謝と畏れの気持ちを持って生きる人を増やしていきます。

自然や文化の多様性を大切にする心を育む。

地球上では場所ごとの自然環境に合わせて、多様な生活様式や価値観を持つ人々が暮らし ています。西予市内でも、カルスト地形や盆地、段丘、リアス海岸といった起伏が多い複雑な 地形があり、1つのまちの中に色々な暮らしがあります。こうした自然や文化の多様性は、地 球や生命、そしてここで暮らしてきた私たちの長い歴史の中で育まれてきたものです。 私たちは、これらの多様性を尊重し、平和で豊かな社会をつくる意識を広めていきます。

よりよい未来につながる行動を起こす。

現代は、人間の活動が地球の地質や生態系に大きく影響を与えている時代(人新世)と言わ れ、地球規模の環境問題が暮らしに影を落としています。今求められているのは、自然と共生す るために一人ひとりのライフスタイルを見直し、経済や社会の仕組みを変化させることです。 私たちは、世界を持続可能なものにしていくために必要な行動を率先して起こしていきます。

ジオパークとは、地球科学的意義のある場所や景観(例えば特徴のある地層・岩石・地形、火山、貴重な化石、 断層が見られるところなど)を保全しながら、教育や持続可能な開発に役立てていこうという考え方によって管 理された、ひとまとまりのエリアです。大地の成り立ちを知り、大地が育んだ多様な生態系やそこで暮らす人々 の暮らしを丸ごと感じることができる「大地の公園」とも言われます。





つなぐ人のことば

Words of people who connect.

暮らしの場として、町並みを伝えていく

今号から、西予市内で文化や暮らしを次の世代に伝えていく活動をされている人たちにお 話を伺っていきます。今回は、宇和町の重要伝統的建造物群保存地区(以下、伝建地区) で活動されている、卯之町町並み保存会の会長、和田さんと副会長の渡邉さんを訪ねました。

いつから活動されているんですか?

和田/伝建地区に選定された年やから、2009年 かな。もともと、地区のいろんな歴史的なことを調 べたり、研究したりされていた方がたくさんいて、そ れが基礎になって伝建地区の選定につながってい るんです。それと、活動が今まで続いてきたのは、 内子町の町並み保存に尽力されてきた岡田文淑さ んがアドバイザーとして居てくれたことが大きいです。 渡邉/この会については、伝建地区になるにあ たって、暮らす人たちが何を大事にしていくべき かっていうのを考えていくために、対象地区内に住 んでる人や土地や建物を持ってる人が中心になっ てつくったんよ。見栄えがいいことをやるだけじゃ なくて、本当の痛みの部分を分かり合わんと前には 進めんし、自分たちの責任で決めていこうって。

和田/町並みって、誰かに見せるためにやってい るわけではなくて、普通に生活して生きている中で 成り立っていることが大事なので。

具体的な活動内容を教えてください。

和田/まず、町並みをきれいに保つために桶掃除 やすす払いといった活動などをしています。住んで いる人が日常生活の中で自分の身の回りをきれい にする、建物を含めてきれいに保つっていう普段 やっていることがそのまま保存につながることなん じゃないのかなと。その他、先進地の視察にも行っ ています。

伝建地区内に中町広場が整備されて防災設備も できたので、今年はそのお披露目も兼ねた防災イ ベントをやる予定です。

伝建地区に選定されて10年経ちました。 今後について考えていることを教えてください。

和田/「卯之町らしさ」って何だろうということが、 どうしても引っかかっていて。人によって「らしさ」の 捉え方が違うんですよ。「らしさ」を表す共通の概 念っていうのはないのかなっていう疑問があったん で、2019年に「卯之町らしさ」や「卯之町に対する 思い」を語ってもらう企画をやったんです。いろん な人にゲストスピーカーとして来てもらって、それを 元に話し合いをしたんだけど、結局、「らしさ」って いうのがきちんと言語化できなかった。おそらく歴 史的な事実とかの捉え方が違って、共通の知識み たいなものが無いんだろうっていうことが分かってき て。もうちょっと正確な知識をみんなで共有したい ね、っていうことが見えてきたんです。だから、もう 1回、歴史を含めて卯之町がどうだったのかってい うことをみんなで知ろうという勉強会を9月ぐらいか ら始める予定です。それをやることでなんとなく卯 之町っていうとこの「らしさ」が少し見えてくるんじゃ ないかな、それが簡単にできるとは思えないけど。 渡邉/勉強会は保存会の中だけでやるのではなく、 オープンにする予定です。住んでいる場所でいつも 未来を考えながら、学び合っていきたいです。





<第2号を読んで>

公開編集会議で出された意見や編集部に直接いただいた感想などをご紹介します。

いただいたご感想

- ◎私は、コンポストを活用しています。夫婦2人暮らしで すが、頑張ってごみの仕分けをして、燃えるごみは2週 間に1回、小さいサイズの袋に抑えています。
- ◎せいよ東給食センターで働いています。ベテランの方 は、戻ってくる給食の容器を通じて各学校の各学年の 様子を観察しながら、食品ロスが出ないように量を微 調整されていて、すごいなあと感じています。
- ◎インタビュー記事をもっと読みたいです。
- ◎子どもたちは、こんなにいい給食を食べているんだ なあと初めて知りました。



「だいちのめ」は、四国西予ジオパークの魅力を 掘り下げ、未来について考えるマガジンです。 本号へのご感想、今後取り上げてほしいテーマ などのご要望・ご提案、こどもジオ相談室への 質問を、ハガキまたはメールでお寄せください。 抽選で四国西予ジオパークのちょっと素敵なも のをお贈りいたします。

応募締め切りは、2022年12月末。当選の発表 は発送をもってかえさせていただきます。

- ① 郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、メールアドレス
- ② 本誌の入手先
- ③ 今後取り上げてほしい話題
- ④ 本号でおもしろかった記事(複数回答可)
- ⑤ご感想や、こどもジオ相談室への質問

以上を明記の上、お送りください。(個人情報は、プレゼントをお届 けするためだけに利用し、その目的以外の無断利用は致しません。







<Twitter>

<Instagram>

ぜひSNSでも<mark>「#だいちのめ」</mark>をつけて 感想や体験談をお寄せください!

〒797-0013 西予市宇和町稲生237-1 ☑ daichinome.edit@gmail.com だいちのめ編集部(一般社団法人ノヤマカンパニー)

編集後記

「地形や地質って、普段の暮らしの中では意識しづらくて・・・何かコツはあるんでしょうか?」と川澄さん に聞いてみたら、「僕は宇和から野村に向かって、最後のトンネルを抜けて下る時、河岸段丘だ~と感じ ながら運転してますよ。」と返ってきました。それ以来、運転しながら地形の凸凹が気になっています。



http://seiyo-geo.jp